

薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例
(2015年3月)

【相互作用防止】

Q：経口避妊薬（ピル）のファボワール™を服用中。健康食品を摂ってよいか？（県民）

A：ファボワール™の成分はデソゲストレルとエチニルエストラジオールである。健康食品のセント・ジョーンズ・ワート（セイヨウオトギリソウ）は、ピルの効果減弱の可能性や不正性器出血の発現率増大のおそれがあるので避ける。

Q：ランソプラゾール（逆流性食道炎で服用）、アムロジピン、デパス™、クラリス™、ムコダイン™、アクディーム™を服用中の患者。ロキソニン™との相互作用は？（歯科医師）

A：降圧薬とロキソニン™の併用で、降圧作用の減弱や腎機能悪化のおそれがあり、併用注意。

Q：タケプロン™（逆流性食道炎で服用）、アルファロール™、アダラート™CR、プロプレス™、アロプリノール、デタントール™R、カルタン™細粒、ワイテンス™、レンドルミン™、プルゼニド™を服用中の透析患者。フロモックス™、ロキソニン™との相互作用は？（歯科医師）

A：降圧薬とロキソニン™の併用で、降圧作用の減弱や腎機能悪化のおそれがあり、併用注意。
透析患者では、ロキソニン™は減量の必要はないが、フロモックス™は減量、投与間隔の延長が必要となる。透析患者では、食事制限や腎機能低下等によるカルニチン量の低下に加え、フロモックス™による体内カルニチン減少が推測される。カルニチン欠乏によるライ症候群様症状を起こすおそれがあり、筋肉量の少ない老年の透析患者では特に慎重投与となる。

Q：アレビアチン™、マグミット™、フロセミド™、オルメテック™、 Crestol™を服用中の患者。ロキソニン™またはアセトアミノフェンとの相互作用は？（歯科医師）

A：フロセミド™とロキソニン™の併用で、フロセミド™の利尿・降圧作用が減少するので併用注意。
降圧薬とロキソニン™の併用で、降圧作用の減弱や腎機能悪化のおそれがあり、併用注意。
アレビアチン™の長期連用者のアセトアミノフェンの服用は、代謝産物が増加し、肝障害を起こしやすくなるので併用注意。

Q：リチオマール™、パルプロ酸ナトリウム、フルボキサミン、トリアラム™、クエチアピンを服用中の患者。セフゾン™、ロキソニン™との相互作用は？（歯科医師）

A：リチオマール™とロキソニン™の併用で、リチウムの血中濃度が上昇し、リチウム中毒のおそれがあり、併用注意。フルボキサミンとロキソニン™の併用で出血傾向のおそれがあり、併用注意。

【適正使用】

Q：リウマチでプレドニゾロンとサラゾスルファピリジンを服用中の患者。フロモックス™を使用したいが、抗菌作用が重複するか？（歯科医師）

A：サラゾスルファピリジンは免疫系に作用し抗リウマチ作用を発揮する。抗菌作用には影響しない。